



Child Family Consultant

アドバンスコース第1回



NPO法人
子育て学協会

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～10:00
1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論	10:00～10:20
2. 子どもの理解①	10:20～12:30
(お昼休憩60分)	
3. 子どもの理解②	13:30～14:35
4. 自分の理解	14:50～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

イントロダクション

- CFCのサーキットで学んでいただいたこと

「子育ての専門家として、必要な基本的知識や心得を
修得している状態」
「保護者と子どもの成長に対して、**一段深く効果的な
関わりができる状態**

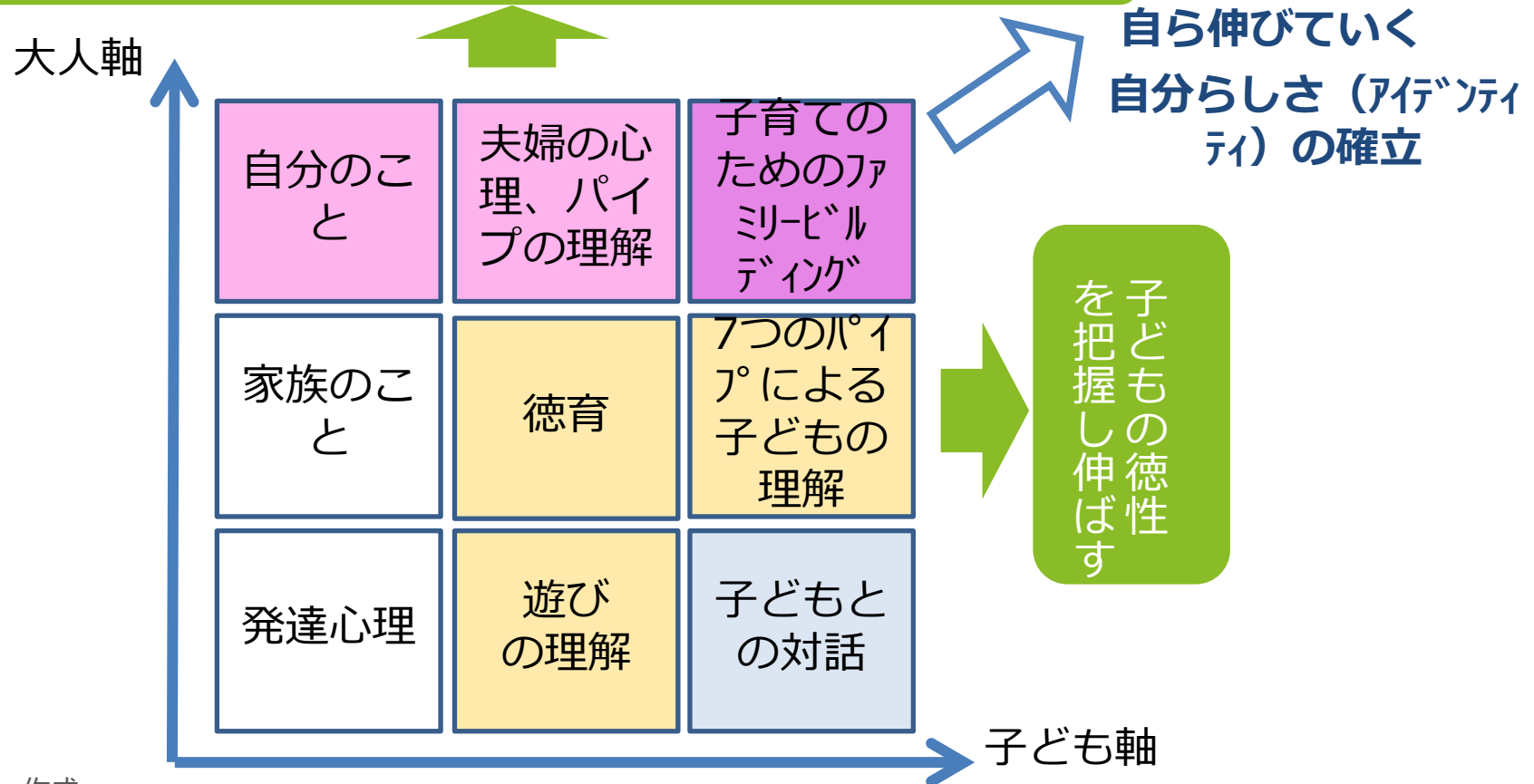
人間のこころの成長過程を、『子どもと大人の相互性』
という視点でみることができる状態

**協会の用意する教材パッケージにより、
一般の親に講師ができるレベル**

イントロダクション

- CFCサーキットで学んでい **発達予防学** 子どもが健全に成長するために必要な予防的観点の学び

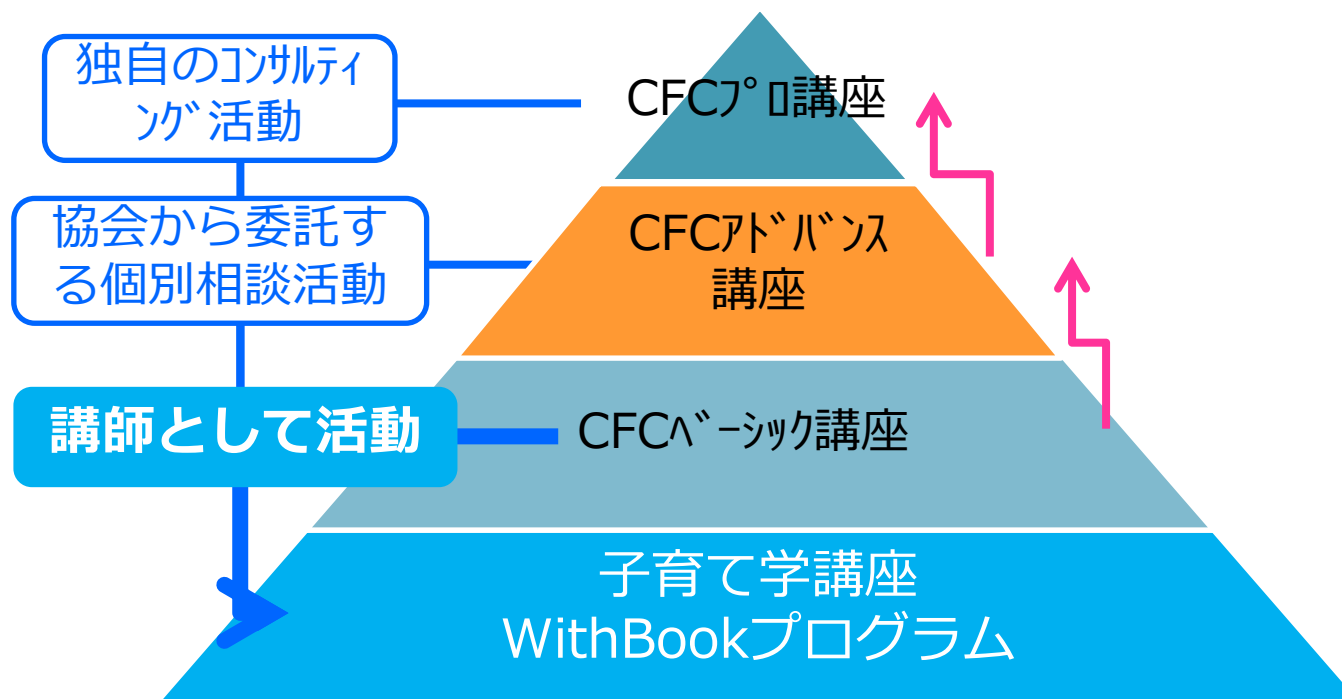
保護者を理解し子育てのためのファミリービルディングを支援する



イントロダクション

- CFCについて

- WithBookプログラムの講師養成講座、子育て学講座講師ご希望の方には無料で講師養成講座を実施
- 受講いただき、協会として実技レベルOKが出れば講師として活躍機会を用意



イントロダクション



自己紹介

● 山本 直美 (やまもと なおみ)

NPO法人子育て学協会 会長

株式会社アイ・エス・シー 代表

(Infinite Stage for Children)

チャイルド・ファミリーコンサルタント

幼稚園の先生出身

趣味 = メニュー開発



- 保護者と子どものための教室『リトルパルズ』
- 独自教育プログラム『With Bookプログラム』
- 子育ての専門家『CFC (チャイルド・ファミリー・コンサルタント)』の育成 (NPO子育て学協会委託)
- リクルート社事業所内保育所『And's』の運営、『リトルパルズアカデミー』、
『ウィズブック保育園』 首都圏21園、名古屋11園の運営
- 児童発達支援スクール『コペルプラス』の運営 (首都圏1園、名古屋2園)
- 企業内研修、パパママ向け講座、キッズニアプログラム監修、育児関連書籍出版
- 経済界・ゼクシィへコラム掲載、日経DUAL等各種連載

自己紹介

- 浦郷 美紀 (うらごう みのり)

チャイルド・ファミリーコンサルタント

NPO法人子育て学協会 理事



キャリアコンサルタント、エマジェネティックス・アソシエイト
NLPプラクティショナー

－株式会社リクルートで営業・営業推進・営業マネジャー・人事・教育研修業務を経験。株式会社リクルートゼクシィなびで総務人事部長を経験後に独立。

昨年度は約200名の園長先生と出会う機会がありました。

－CFCベーシック、アドバンス第1期生を修了後、協会の各種研修の開発に関わる。



みなさんの自己紹介もお願いします

- ①お名前
- ②ベーシックを学んでの気づき・感想・実践していること
- ③アドバンスを学ぶ意気込み

イントロダクション



CFCを学ぶルール

1. 事前資料には目を通し、課題は行ったうえで参加する
2. 主体的に行動し、積極的に関わる態度を忘れない
3. 参加者がお互いに学ぶ姿勢を持っていることを尊ぶ
4. 時間を守る

イントロダクション



講座の中の共有・議論への取り組み方

<話す>

- ・限られた時間の中で、自分が話す配分を心がける
- ・話したくないことは無理に話さないで良い

<聞く>

- ・話をさえぎって途中で口は挟まず、最後まで聞く
- ・相手が気持ちよく話せるような聞き方を心がける
- ・違う意見や違う視点、他の人の意見を一つの意見として肯定的に受け止める

イントロダクション



本日のスライドは配布版を
ホームページ上で公開しています。

当日テキストに自身で「ポイントと思うこと」
「気づき」などを積極的にメモを取ってください。

本日のタイムスケジュール



イントロダクション

9:30～10:00

1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論

10:00～10:20

2. 子どもの理解①

10:20～12:30

(お昼休憩60分)

3. 子どもの理解②

13:30～14:35

4. 自分の理解

14:50～16:20

5. まとめ・事後課題・アンケート

※約1時間に一回休憩があります



履修ゴール

チャイルド・ファミリーコンサルタント養成講座
アドバンスコースで学ぶことを理解する

○子育て相談のアプローチについての概要を知る

1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論



アドバンスコースで学ぶこと

ベーシックコースを修了した方向けのより実践的な知識とスキルを体系的に学んでいただく講座です。

発達予防学のベースとなる知識やスキル・子どもを伸ばすための知識やスキル・保護者を理解し支援するための知識やスキルを総合的に学んでいただくコースになります。

子どもを伸ばす
知識とスキルの習得

子どもの遊び
・絵本を使用した想像力/コミュニケーション力/集中力の把握
・子どもに身につけたいスキルと遊びの関係

子どもとの対話
・親の感情的なコミュニケーションの整理分析
・子どもへの言葉かけの指導
・ポジティブに伝えるコミュニケーション

子どもの徳育
・ワークショップを通じた徳性の把握
・徳性に合わせた伸ばし方の理解
・周辺教育の理解 (お稽古事、受験)

子どもの7つのパイプ把握
・7つのパイプの把握のためのチェックポイント
・人的環境に合わせた理想モデル
・保護者の認識への対応

親とのコミュニケーション
・心情理解
・信頼関係を築く
・相手に合わせたコミュニケーション

ファミリービルディング
・課題解決のためのPDCA

保護者を理解し子育てを支援する
知識とスキル

ベースになる
知識を伸ばす

子どもの理解
・年齢に合わせた徳性の理解
・病気や障害の知識と対応

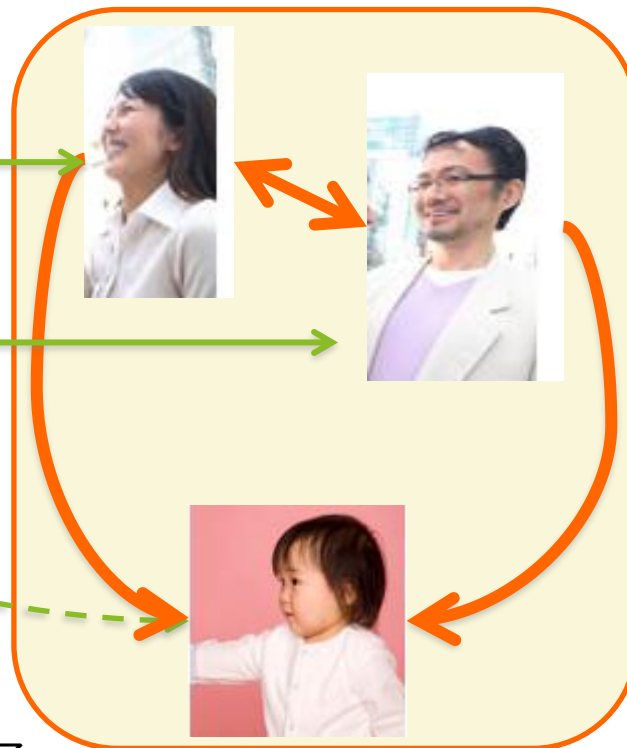
自分の理解
・自分の徳性の理解
・他人の徳性の理解

家族の環境
・幼児期の子どもを抱える家族に関わる家庭の問題理解

1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論



1-1. 子育て相談のアプローチ



親自身のこと

- ・生活リズム
- ・心の安定度合い
- ・自律度
- ・ストレス状態と理由を探る
- ・家族について
(パートナー・祖父母)
- ・快動や自律

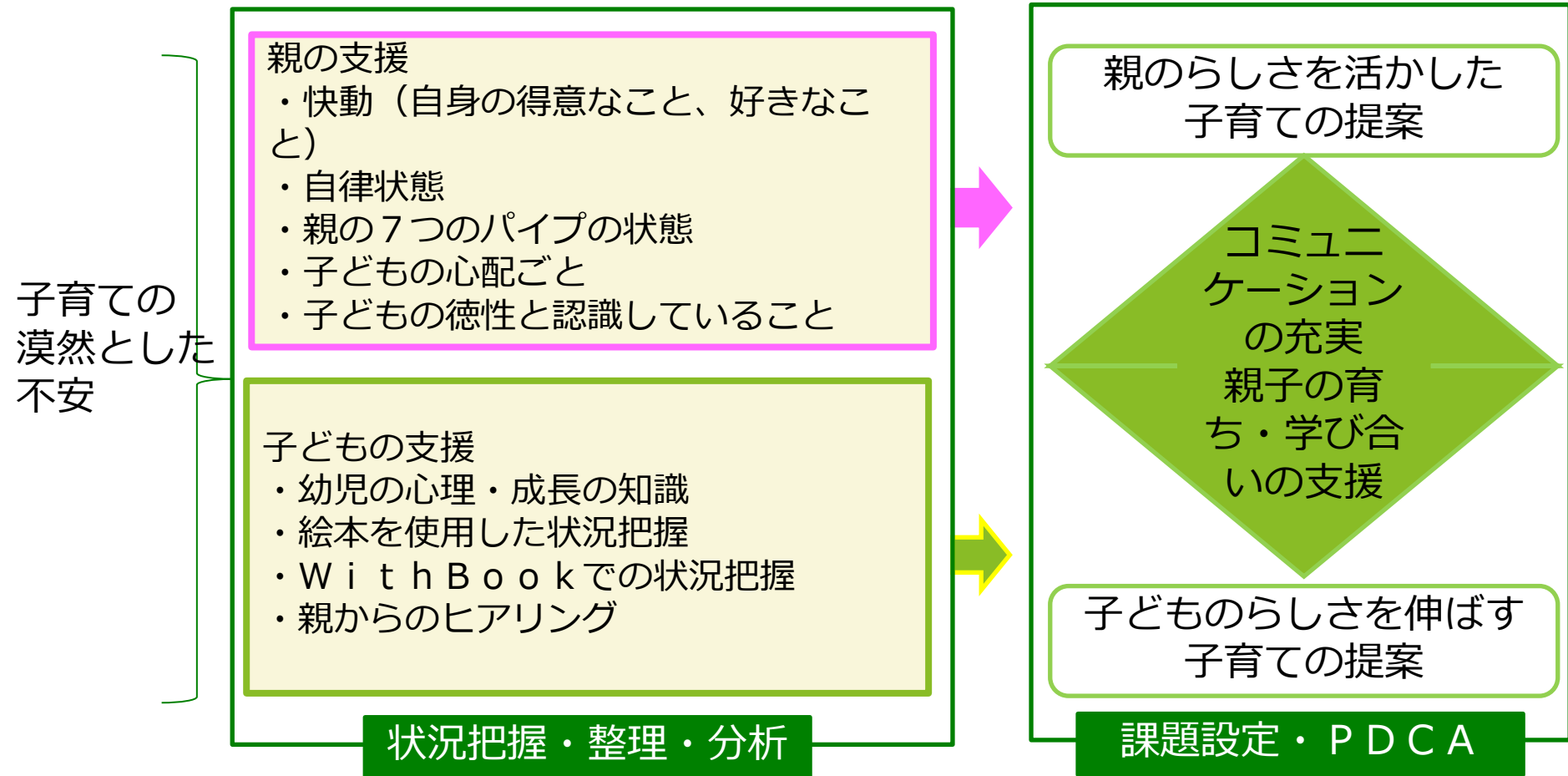
子どもの様子

- ・生活リズム
- ・遊び方
- ・友達
- ・自律
- ・快動
- ・心の安定
- ・徳性

子育てのパートナーとしてファミリービルディングに関わる

1. CFC(チャイルド・ファミリーコンサルタント)概論

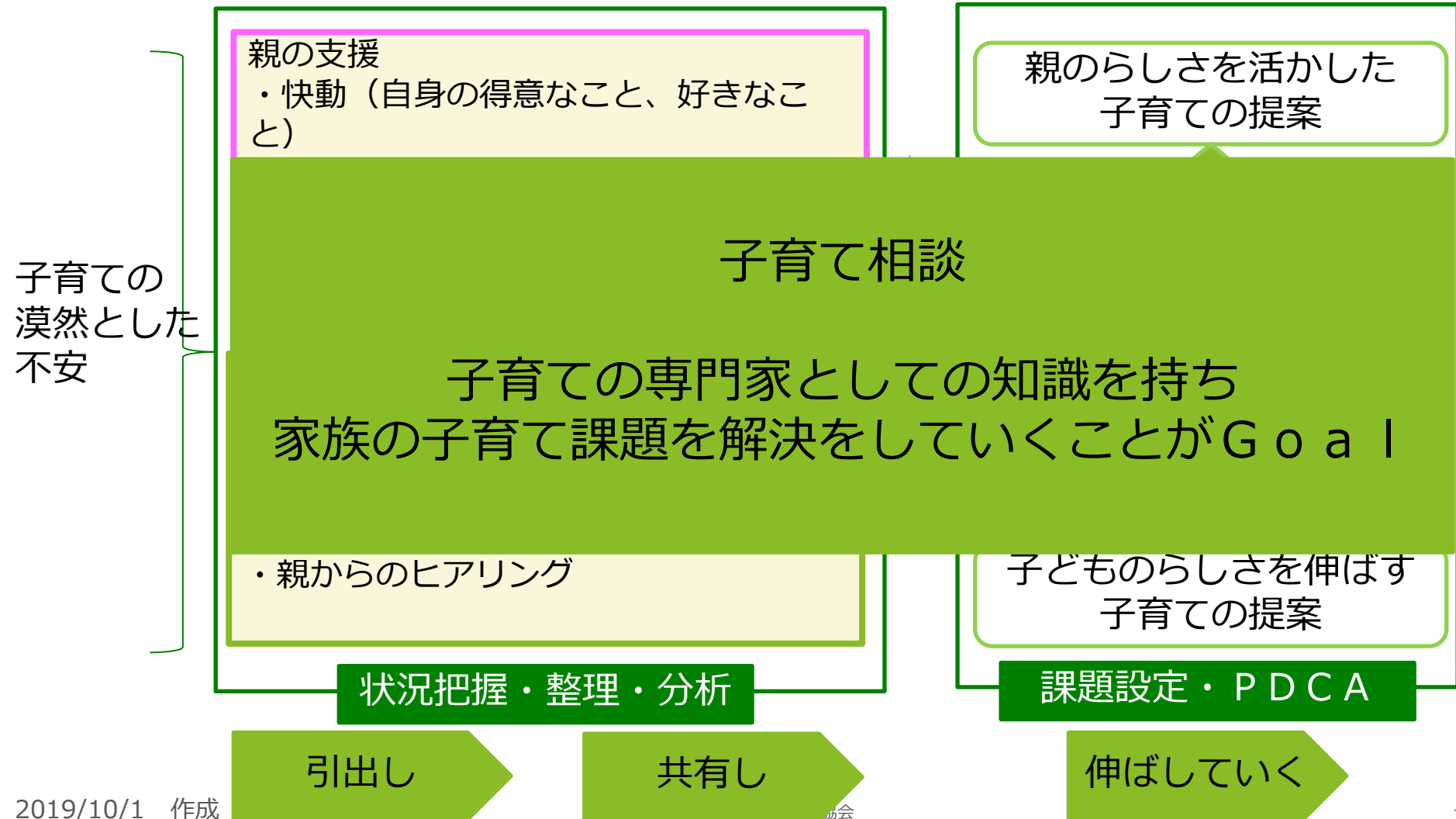
1-1. 子育て相談のアプローチ





1. CFC(チャイルド・ファミリーコンサルタント)概論

1-1. 子育て相談のアプローチ





1 - 2. 子育て相談で大切なこと

CFCの心得

大人も子どもも愛でべき存在として大切に扱う

①保護者に興味関心を持つ

知りたい・教えて欲しい・理解者でありたいというスタンスで接する

②ありのままを受け止める

良い悪いの判断をするのではなく今はその状態にあることを理解する

③違いを面白がる

自分と違う価値観考え方があることを楽しみ、一緒にどうしていくかを考え自分のできる精一杯のことをする



1 - 2. 子育て相談で大切なこと

子育ての専門家としての知識

+

●信頼の構築

- ・「あなたの事が知りたいんです」というスタンス（興味を持って）
- ・目を見て声のトーン（低め）控えめな相槌

●環境の設定

- ・心理的安心感（隣ではなく対面やナナメ・右に座ってもらう）
- ・話を聞きやすい場所（静かなところ 周りの人の目）

●スタンス

- ・評価しない
- ・否定しない

2. 子どもの理解①

履修ゴール

徳育の観点から子どもの状態や発達を理解する

○年齢・成長に合わせた子どもの状況を理解する

○CFCとして理解しておきたい観点を知る

2. 子どもの理解①

2-1. 徳性の理解

発達と 関わり 大	身体的徳性	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	体の大きさ、体・顔のつくり、表情、声など
	精神的徳性	◎ ◎ ◎ ◎	感情表現、言葉や体での表現の仕方など
	思考の徳性	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	ポジティブ、心配性、深く考える、単純など
気質と 関わり 大	人間関係の徳性	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	人との関わり方、関係など
	行動的徳性	◎ ◎ ◎ ◎	活発さ、集中度、好き嫌いなど
	遊びの徳性	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	外内、興味を持つもの、時間など

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

外見的徳性

- 黒目の大きさ
- 髪の中の質
- 目つき 表情 肌色 肌質 (状態)

機能的徳性

- 筋肉の量
- 身長体重バランス

CFCとして必要な観点
見た時にどう見えるか = どう周りからその子が扱われるかの視点で見る

気をつけたいこと
障害や病気の可能性

2. 子どもの理解①



2-2. 身体的徳性

ワーク：

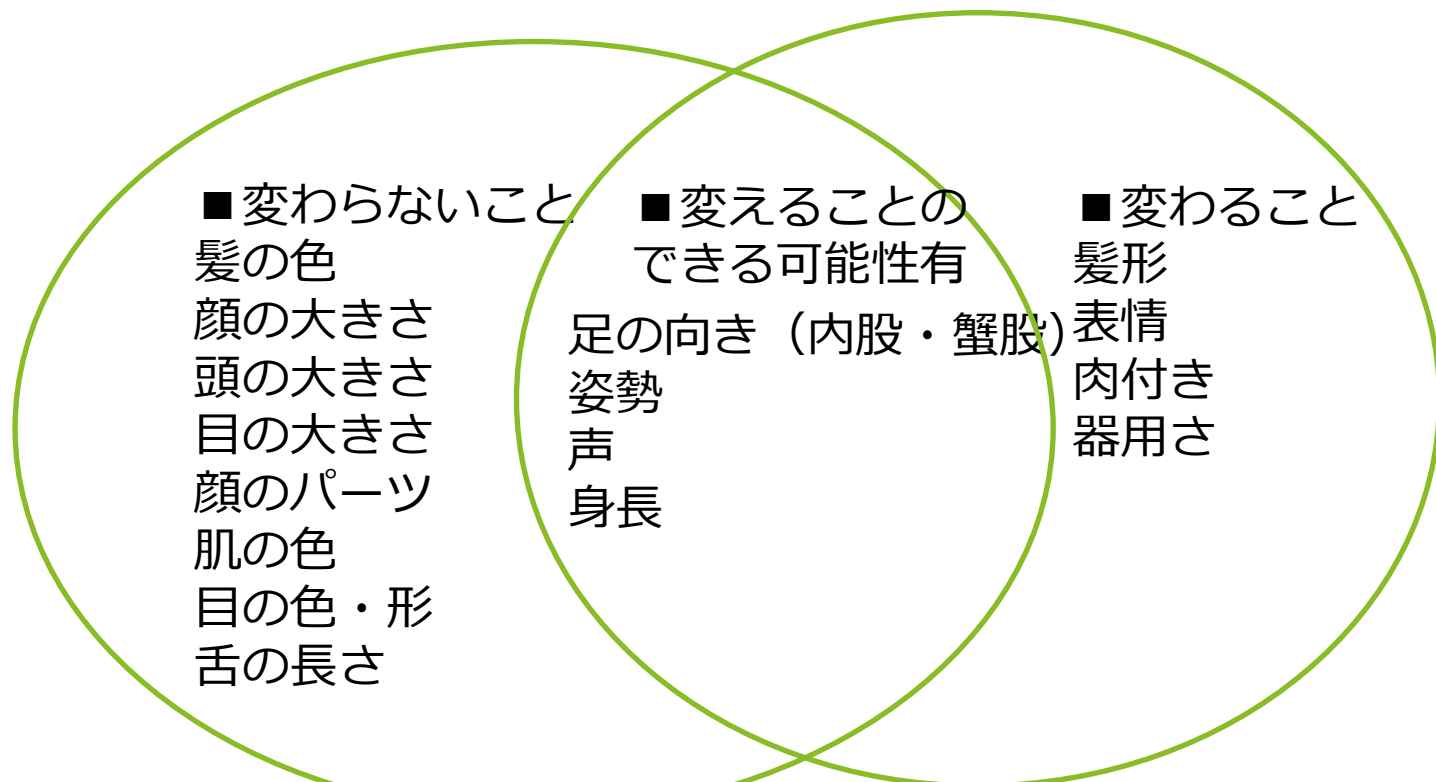
身体的徳性で変わらないことと変わることには
どんなことがありますか？

※整形、ヘアカラー、カラーコンタクトなど不自然
な変化は含まない)

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

変わらないことと変わること



身体的障害は健診で指摘されることが多い



休憩(10分)

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

大きさ 身長・体重	基本の知識	親が気に すること	CFCとし て気にな ること	アドバイ スのポイン ト	ケアしたい 病気・障害
1歳	標準値表を 理解してい る	標準値に 入っている かどうか	標準値から 大きく外れ ている場合	バランスや遺 伝の状態を観 察する	※標準値を外 れ気になると ころがあれば 医師に相談
3歳	3・5歳： 身体の個々 の発達はど うか	3・5歳：生 まれ月の発 達の違い 体型	3・5歳：そ れぞれの体 の箇所の発 達 月齢に合わ せた発達 他の人の評 価 健診の結果	3・5歳：月齢 を加味した成 長を一緒に考 える 他の人の評価 をどのように 感じているか を聞いて一緒 に考える 既往症の影響	3・5歳： 健診結果に よっては紹介 することも 肢体不自由 視力
5歳					

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

パーツ 手足の大きさ 長さ 肌の 色 頭の 大きさ 顔 の大きさ	基本の知識	親が気にすること	CFCとして 気になること	アドバイスの ポイント	ケアしたい病 気・障害
1歳	標準値表を理解している	足の変形、それぞれの大きさ	<ul style="list-style-type: none"> ・人にどんな印象を与えるかを気に掛ける 		機能として問題がありそうであれば医師へ相談
3歳	特徴や個体差が表れてくる	全体的なバランス	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達を気に掛ける 	その子にあった対応を一緒に考える	
5歳	身体的徳性の全体的な影響	運動機能などに関わること			

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

体の発達 指先の発達	基本の知識	親が気にすること	CFCとして 気になること	アドバイスの ポイント	ケアしたい病 気・障害
1歳	歩行 柔軟性	歩かない		個の差がある ことを理解し てもらおう	機能として問題があり そうであれば医師 へ相談
3歳	指先の発達	なんでも手 掴みになっ てしまう	指先の使い 方	遊具（はさ み・くれよ ん・のり・粘 土）の使い方	
5歳	巧緻性	不器用、 作品が雑、	モノの扱い や理解	個人の得意不 得意もある 楽しく出会う 機会を増やす	

2. 子どもの理解①

2-2. 身体的徳性

筋肉の量	基本の知識	親が気にすること	CFCとして気になること	アドバイスのポイント	ケアしたい病気・障害
1歳	首すわり 歩行	発達の度合い	首すわり・座位・はいはい・歩行のデッドを知っている	個によって成長は違うことを理解してもらう	
3歳	積極的に取り組む	階段・遊具を怖がる ボールの扱いが苦手 走ることが苦手	運動機能の発達と視力 運動している頻度	動機づけをきちんと行う	
5歳	固定遊具は扱える	鉄棒にぶら下がってもすぐ落ちる 縄跳びができない	あまり体を動かすことが好きじゃない		

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～10:00
1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論	10:00～10:20
2. 子どもの理解①	10:20～12:30
(お昼休憩60分)	
3. 子どもの理解②	13:30～14:35
4. 自分の理解	14:50～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

2. 子どもの理解①

2-3. 精神的徳性

他者への意識

- 適応力
- 羞恥心

言葉の理解

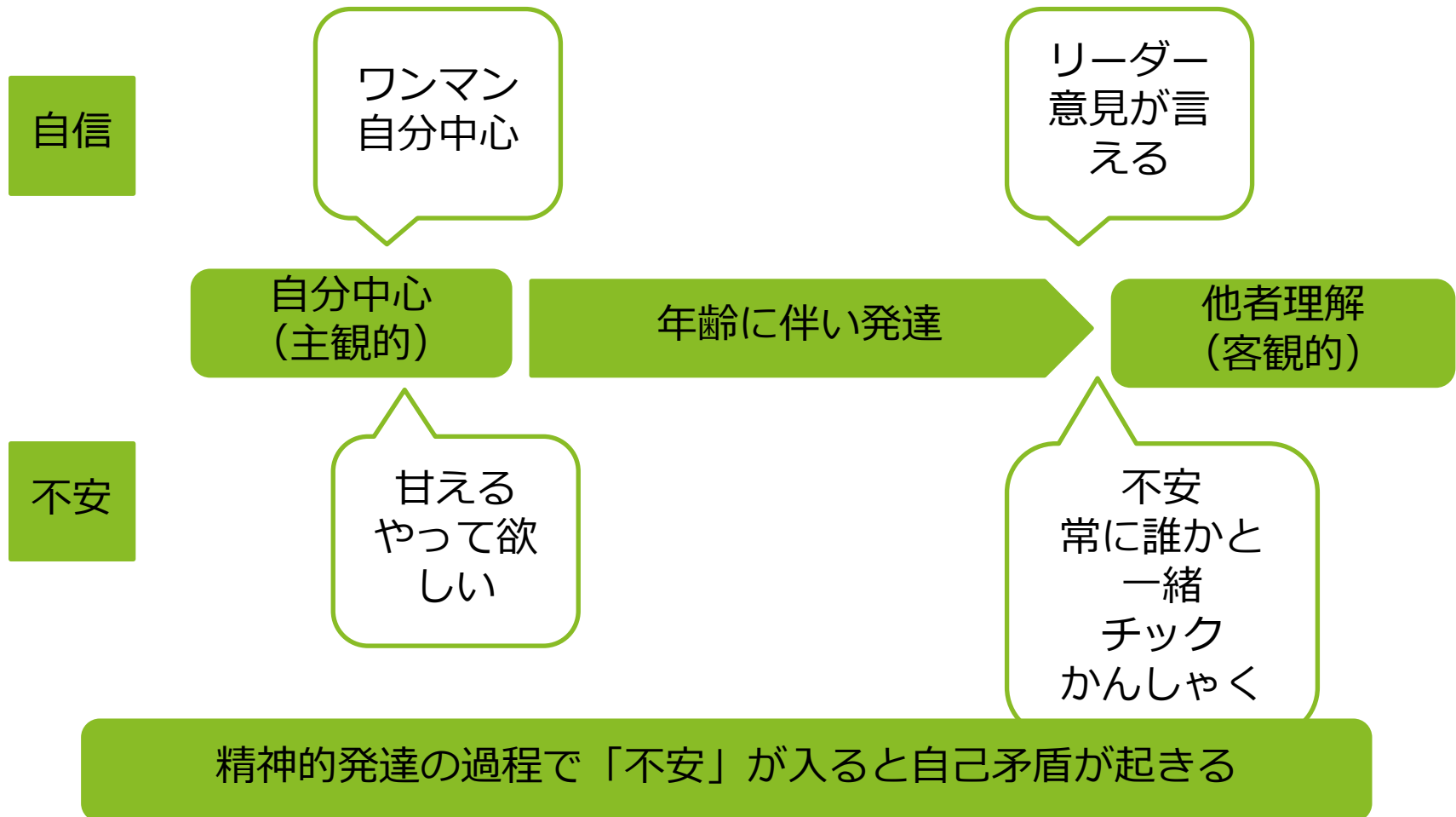
- 発語
- 言葉を理解する
- 言葉で表現できる

CFCとして必要な観点
他者への意識として把握していく

気をつけたいこと
場を読み過ぎるなど「過ぎる」傾向がある場合には親の関わり方を見る

2. 子どもの理解①

2-3. 精神的徳性



2. 子どもの理解①

2-3. 精神的徳性

言葉の発達	基本の知識	親が気にすること	CFCとして気になること	アドバイスのポイント	ケアしたい病気・障害
1歳	差が激しい アー・・・3 つの単語を続 けられる	発語が遅れ ている	視線が合う かどうか 反応するか	刺激の少な さ・・・語 りかけ 親が早 口・・・理 解できない	耳の間こえ 発達障害も あるが1歳 の時点で判 断するのは 難易度高い
3歳	発語がないの は問題になる	奇声や痲 癩・理解が 遅い・語彙 が少ない	意味の理解 ができてい るか 落ちつき	視線があっ ているか、 理解度につ いて	発達遅滞・ 自閉的要素
5歳	気持ちや感情 欲求などが伝 えられる	舌ったらず 吃音、	自分の意思 を伝えられ るか	聞いてあげ てる姿勢・ 親の言葉	同上

2. 子どもの理解①

2-3. 精神的徳性

適応力	基本の知識	親が気にすること	CFCとして気になること	アドバイスのポイント	ケアしたい病 気・障害
1歳	慣れてない 場所に適応 できないの は当たり前	ママから離 れない 保育園で泣 いて別れら れない	愛着関係	慣れるまでの時 間を共有する スキンシップ、 抱っこ	人に興味を持たな い 声をかけても反応 しない 自閉的要素 アスペルガー
3歳	他の子ども と遊べる	1人で遊び 友達の輪に 入れない	親の接し 方・セパ レーション（母子 分離）	ムリはしない 親が神経質なこ とが影響してい る場合は、周り の子と異なるこ とは伝える	
5歳	新しいもの へチャレン ジできる	チャレンジ しない	背景や理 由を考慮 する	状況に合わせて、 動機づけ、 BabyStepなどを 考える	

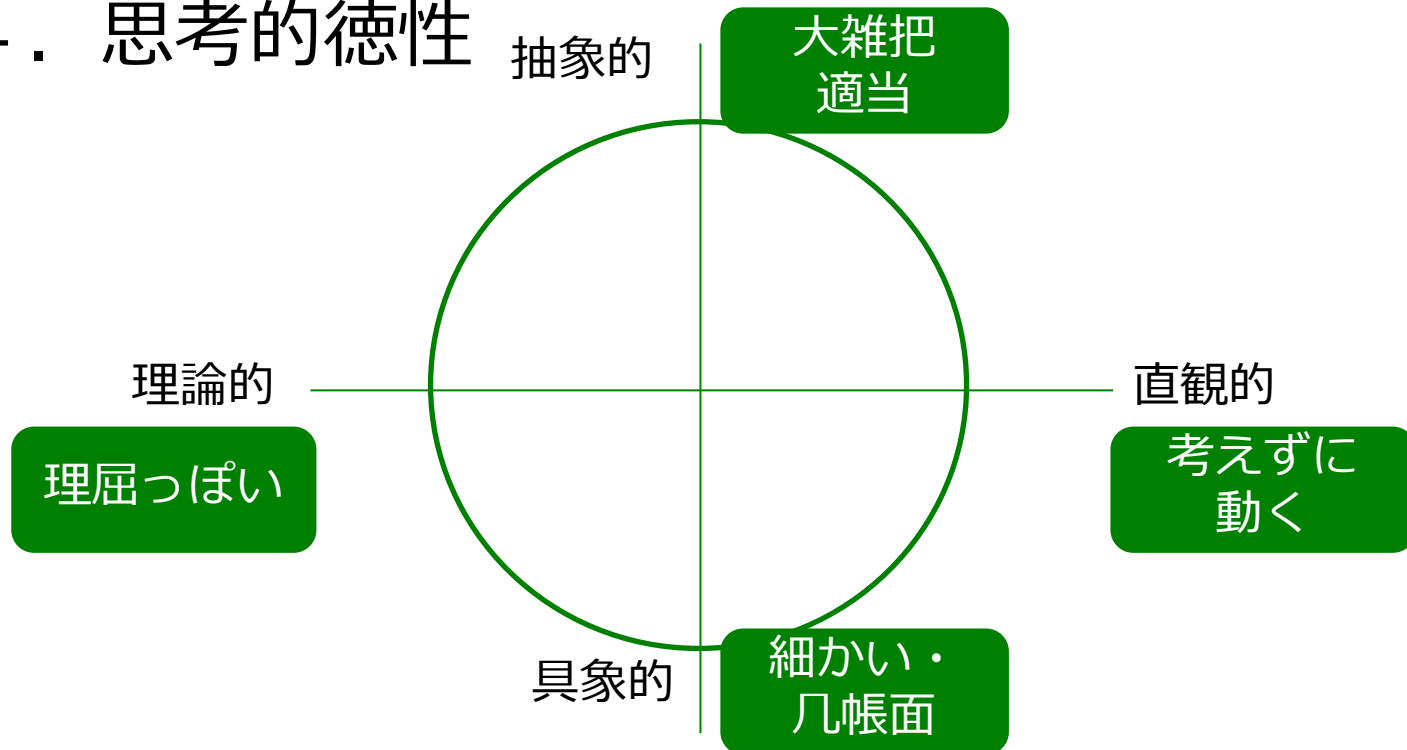
2. 子どもの理解①

2-3. 精神的徳性

羞恥心	基本の知識	親が気にすること	CFCとして気になること	アドバイスのポイント	ケアしたい病気・障害
1歳	発達途中				
3歳	トイレや着替えに恥ずかしさを持つ	羞恥心が強すぎる 無さすぎる	失敗が嫌←自分でハードル上げる 緊張←プレッシャーを親が仕掛けていることも	失敗しても安心な経験を積む 緊張感が強い場合はステップをつくり練習しクリアしてできる経験をさせる	自閉的要素
5歳	周りで見られる意識が芽生える	演劇会で発表できない 謝れない			

2. 子どもの理解①

2-4. 思考的徳性

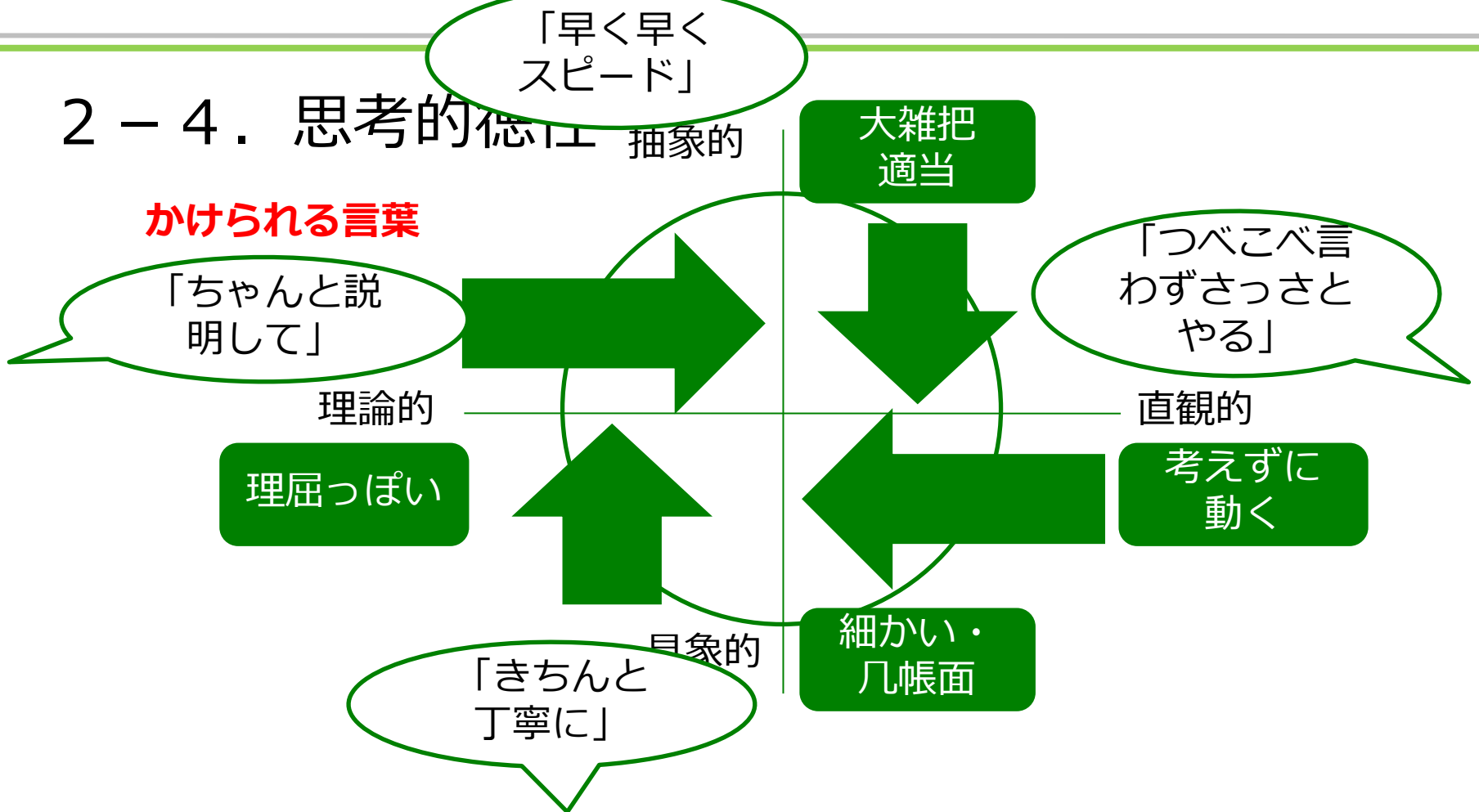


CFCとして必要な観点
決めつけではなく傾向として理解すること

気をつけたいこと
親と徳性が異なる場合に理解されにくく「困った子」「扱いづらい」と評価されやすい

2. 子どもの理解①

2-4. 思考的徳性は 抽象的



親との思考徳性によってかけられている言葉が違う

2. 子どもの理解①

2-4. 思考的徳

しつけのポイント

- 背景や理由をきちんと説明する
- そのことでどんなメリットがあるかを伝えて意識づけ

- 関心を高めるため、ゲーム化する
- きちんとやるだけではなく、カッコよく、おしゃれになどよりアイデアが出せるようにしアイデアを認め意識づけ

- Babyステップをつくり、できた喜びを共有する
- 1つできたら次を事前に予告をして意識づけ

- どうすれば上手くいかを一緒に考える
- やったことの理由を聞く。教えてくれてありがとうと意識づけ

それぞれがかけられる言葉やしつけとして意識したいこと
親とのタイプのマッチングを見ながらアドバイスに活用する



休憩(10分)

2. 子どもの理解①

2-5. 行動の徳性



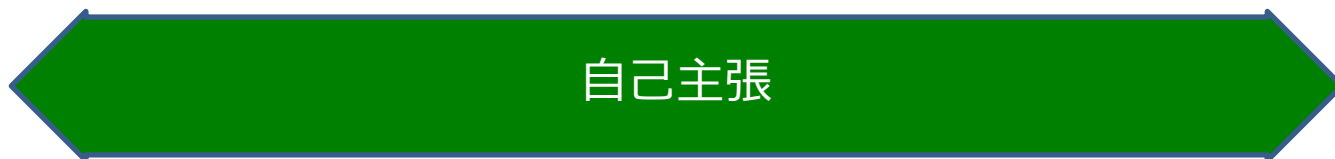
もの静か

思慮深い

控え目

多弁

快活



衝突避ける

おおらか

負けず嫌い

思い通りにしたい

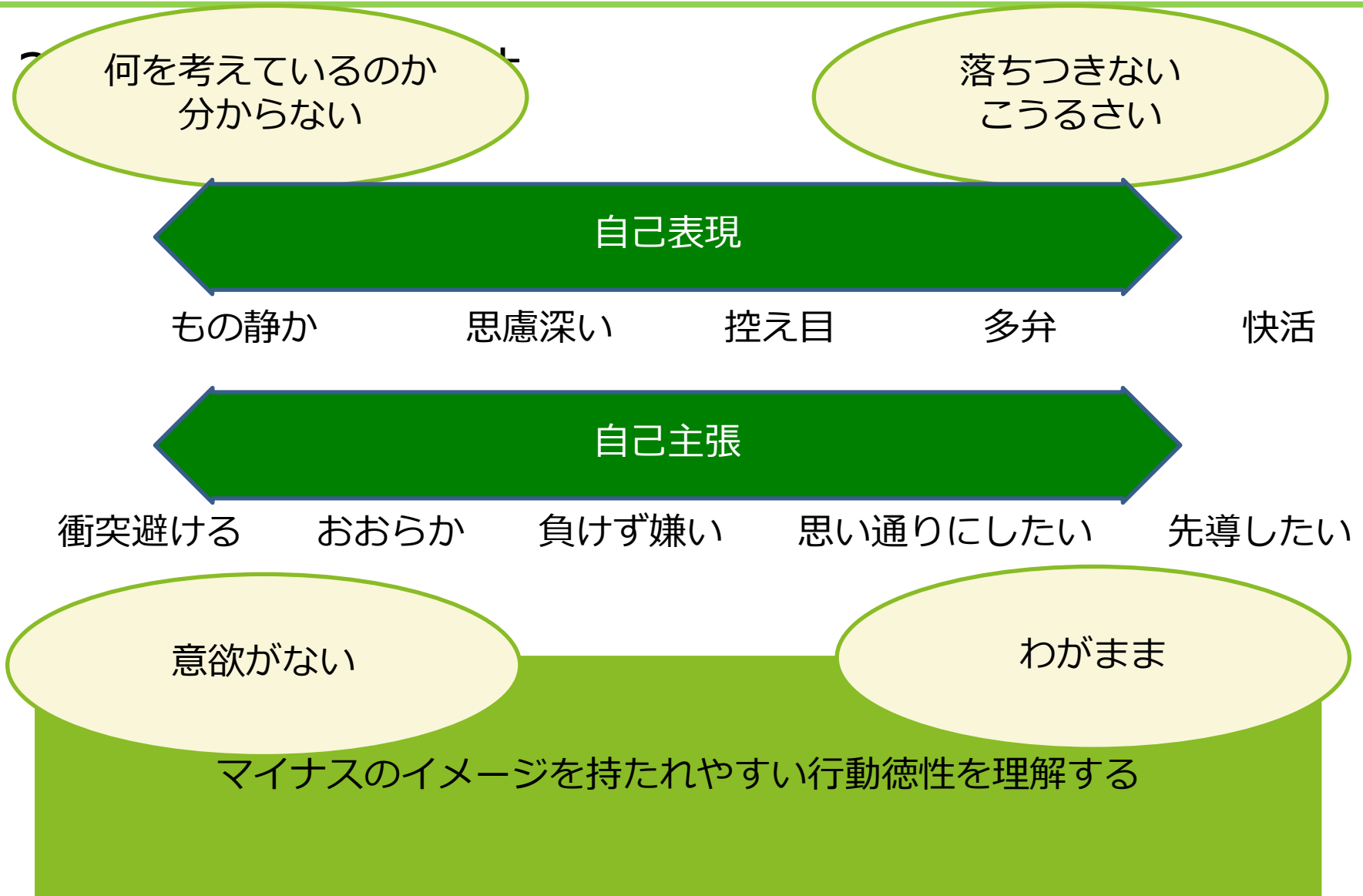
先導したい

CFCとして必要な観点
行動は周りから見えやすいので、周囲に与える影響の観点で理解する

気をつけたいこと
周りの環境や期待で本来の徳性が妨げられていないか



2. 子どもの理解①





2. 子どもの理解①

- * 落ち着きがあるね
- * きちんと考えて行動しているね

- * 積極的だね
- * たくさん話ができるね

自己表現

思慮深い

控え目

快活

自己主張

- * 人のことを大事にするね
- * 気遣いができるね
- * 穏やかだね

- * 意思が強いね
- * 諦めない姿勢があるね

負けず嫌い

ページを持たれやすい行動性



2. 子どもの理解①

2-5. 行動の徳性

広げる言葉

何を考えているのか
分からない

落ちつきない
こうるさい

自己表現

もの静か

思慮深い

控え目

多弁

快活

自己主張

意欲がない

わがまま

衝突起

受けず嫌い

思い通り

見守りたい

そう思われたいためにできることを教えていく

徳性は認めながら、多様な対応ができるように広げていく



2. 子どもの理解①

★笑うととてもかわいいね（女の子）とステキだね（男の子）と言って自信をつけてあげる

★その子が話すときにみんなでしっかり耳を傾けて上げる。その子が話した後、話してくれてありがとう、を周りが伝える。話すことはみんなにとって嬉しいことであると意識付け。

★「ぼくは、わたしは」のiメッセージで話すようすすめる

★クローズドクエッションで、まずは2択から聞いてみる。

例：「夕食何がいい？」ではなく「お肉とお魚どっちがいい？」などとし、意見を尊重してあげる

★動く前、声を出す前に、一度深呼吸をする。（落ち着くため）

★動く前、声を出す前に周りのひとは何しているかな？と確認してから

★なぜそう主張するのか、理由を伝える（ただ主張のみをするだけではなく）

例：夕食どれがいい？

→おひるはご飯だったから、麺がいい！等

★自分の意見を言い終わった後、「みんなはどうしたい？」ときき返すクセ付けをする

徳性は認めながら、多様な対応ができるように広げていく

2. 子どもの理解①

2-6. 人間関係の徳性

子どもらしく良いことと肯定される

ともすると人に振り回され、深く考えることが苦手。人に聞く以外の学びをする時間や事柄を見つける

人への関心大	年齢	人への関心小
<ul style="list-style-type: none"> ・甘える ・寄ってく、一緒にいる ・物を渡す 	1歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心のあるものに集中
<ul style="list-style-type: none"> ・友達と同じが好き ・グループをつくる ・言葉数多い 	3歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から誘わない ・言葉数少ない
<ul style="list-style-type: none"> ・集団で遊ぶ ・表現豊か 	5歳	<ul style="list-style-type: none"> ・何かを突き詰めていく、専門性

CFCとして必要な観点
両方の徳性の持つ課題に合わせた対応

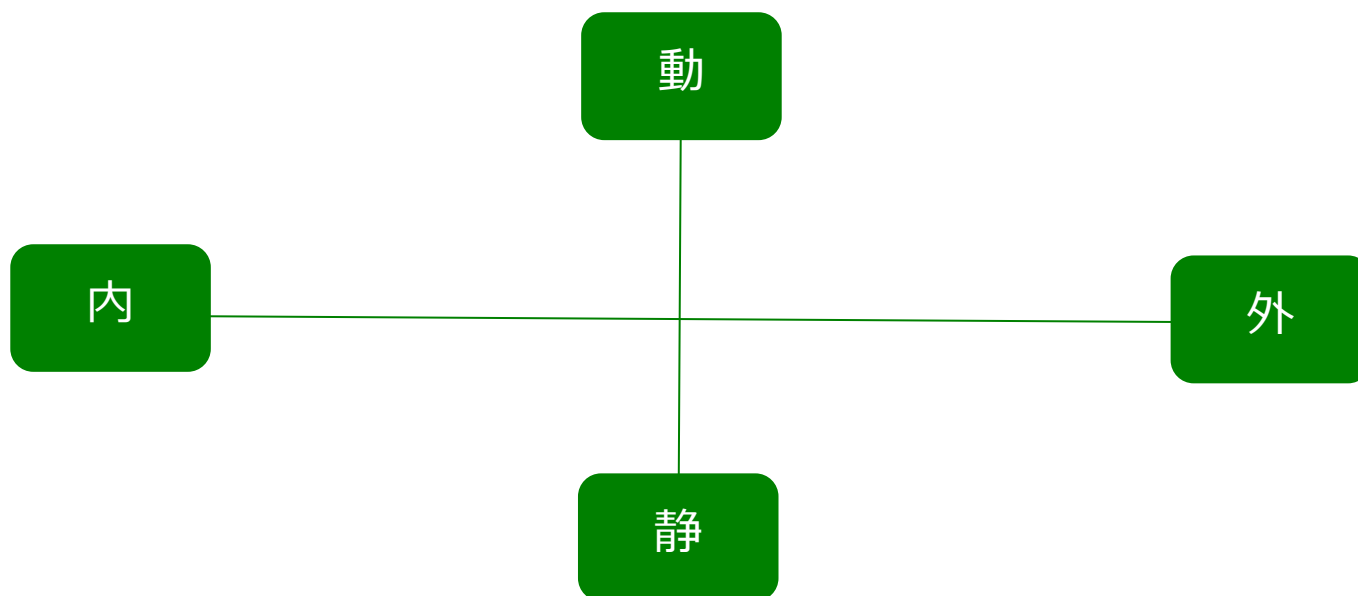
気をつけたいこと
徳性を認めた上で、伸ばしていく

子どもらしくないとレッテルを貼られることがある

深く掘り下げられる力を持っているので、それが社会と繋がるように集団遊びの提案などを通し人に繋げる橋渡しをしていく

2. 子どもの理解①

2-7. 遊びの徳性



CFCとして必要な観点
バランス

気をつけたいこと
偏らない、出会いの機会があるかどうか



2. 子どもの理解①

- ・リズムあそび。
【リトミック的なもの】例：音に合わせてスキップ、動物のまねなど。
- ・体操
- ・新聞紙をちぎる（大きな動き）
- ・マットを使って
- ・電車ごっこ

動

- ・ボールあそび
- ・なわとび 例：とぶ、くぐる
- ・プールあそび
- ・おいかげっこ、おにごっこ
- ・体操
- ・集団あそび（だるまさんがころんだ）
- ・散歩
- ・固定遊具（ぶらんこなど）

- ・おりがみ ・描画
- ・ひもとおし ・ままごと
- ・絵本 ・粘土
- ・制作

静

- ・ままごと
- ・すなあそび
(砂に絵をかく、おやまづくりなど)
- ・いろみずあそび
- ・虫探し

ノ

ミ

気をつけたいこと
偏らない、出会いの機会があるかどうか



(お昼休憩60分)

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～10:00
1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論	10:00～10:20
2. 子どもの理解①	10:20～12:30
(お昼休憩60分)	
3. 子どもの理解②	13:30～14:35
4. 自分の理解	14:50～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

3. 子どもの理解②



履修ゴール

子どものココロとアタマを育むために必要なことを学ぶ

○子どもに身に着けて欲しい
「3つのチカラ7つのココロ」を理解する

○社会生活をするために必要な力へのつながりを理解する

3. 子どもの理解②

3-1. 子どもを育む



子どもが本来持っている「らしさ」を損なわないように伸ばしていく

3. 子どもの理解②

3-1. 子どもを育む

事前課題①

「子どものココロとアタマを育む

毎日7分、絵本レッスン」

を読んで大切だと思ったことを共有ください。

- 1人2分程度

3. 子どもの理解②



3 - 2. 高めたいエネルギー

好奇心

探究心

自発性

好奇心 = はじめてのこと、知らない世界に対して興味が持てる

探究心 = 興味関心があることを楽しみながら深く掘り下げられる

自発性 = やりたいことを実現するにはどうしたらいいかを自ら考えられる

子どもが本来備えている力を制限せずに伸ばしていくもの

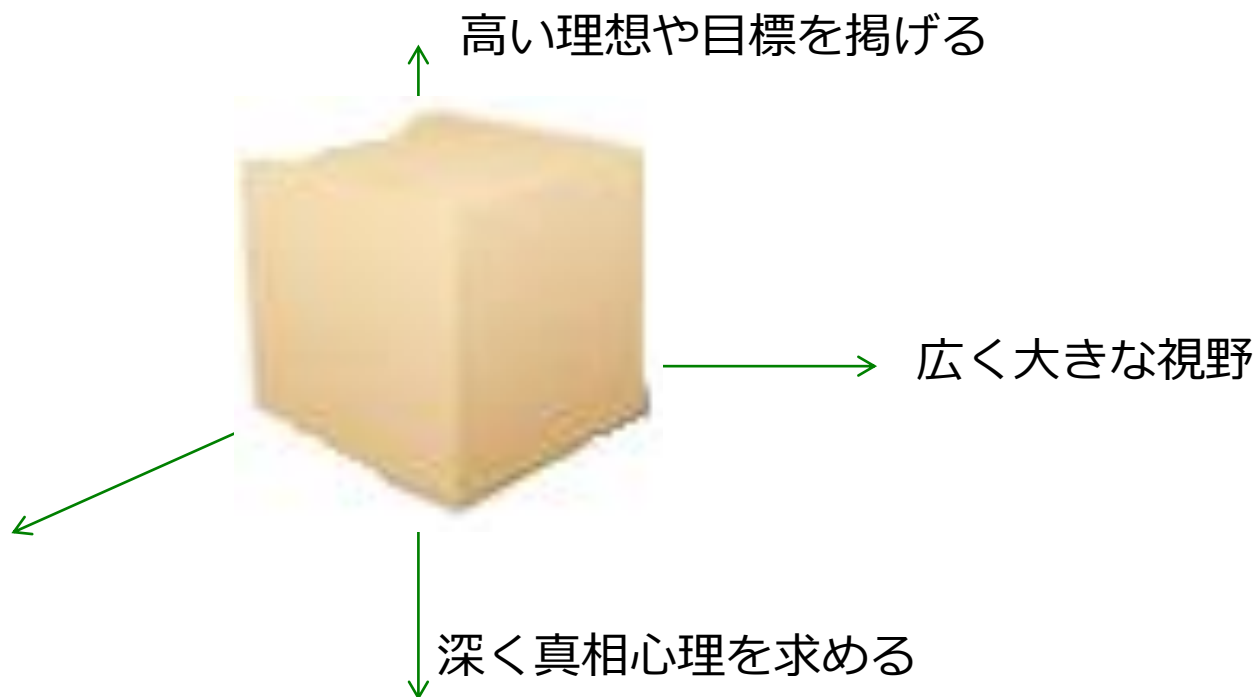
3. 子どもの理解②

3-2. 高めたいエネルギー

好奇心

探究心

自発性



未来を切り開いていくたくましさ
エネルギーレベルが高い大人につながる

3. 子どもの理解②



3-3. 身につけたい心

親切心

自尊心

道徳心

価値観

親切心 = 相手の立場を察し、相手のために自ら行動を起こせる

自尊心 = ありのままの自分を受け止め、自分を信じてチャレンジできる

道徳心 = いいことと悪いことの判断ができる

価値観 = 自分の信念を持ちながら、相手の考えも認めることができる

多様な人間関係からバランスを身に着けていくもの
大切なのは「ほどほど感」

3. 子どもの理解②

3-3. 身につけたい心

人の気持ちわからない

親切心

人間関係に敏感

自信喪失

自尊心

自信過剰

優柔不断

道徳心

白黒つける

信念がない

価値観

唯我独尊



社会の中で生きていくたくましさ

情緒の安定した大人につながる

3. 子どもの理解②



3-4. 伸ばしたい力

想像力

コミュニケーション力

集中力

想像力 = 自分は何がしたいのか、自分には何ができるのかを考え
見つけることができる

コミュニケーション力 = 共感を持って相手の話を聞くことができ、
自分の気持ちを相手に伝えられる

集中力 = 落ち着いてものごとを最後までやりとげることができる

繰り返し行うことでスキルが上がっていくもの



3. 子どもの理解②

3-4. 伸ばしたい力

想像力

自分は何がしたいのか、自分には何ができるのかを考え見つけることができる

コミュニケーション力

共感を持って相手の話を聞くことができ、自分の気持ちを相手に伝えられる

集中力

落ち着いてものごとを最後までやりとげることができる

人から好かれ信頼を得る

社会と繋がる力につながる



(休憩10分)

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30～10:00
1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論	10:00～10:20
2. 子どもの理解①	10:20～12:30
(お昼休憩60分)	
3. 子どもの理解②	13:30～14:35
4. 自分の理解	14:50～16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

※約1時間に一回休憩があります

4. 自分の理解

履修ゴール

CFCとしての信頼を得るために、自分の理解を深める

○多様な「感情」「思考」「価値観」の背景を理解する

○相手にも感情の働きや考え方があることを知る



4. 自分の理解

4-1. 自分理解の大切さ

家族と信頼関係を築くために

能力への信頼

専門的な知識を持っていて
任せて間違いない

ロジカルな納得感が大事

基礎知識
子どもに関する知識

意志への信頼

自分のことを一生懸命考え
て誠意を持ってくれている

感情を動かすことが大事

言葉 しぐさ 表情 態度

その人の在り方（人間性）に注目される
良い悪いではなく自分に自覚的になっておくことが大切

自己理解は他者理解にもつながる



4. 自分の理解

4 - 2. 感情の扱い

ワーク①

こんなことを言われたら

「わー 嫌だな～」
「何で こうなの～」と
思う言葉



4. 自分の理解

4 - 2. 感情の扱いの理解

こんなことを言われたら「わー 嫌だな～」 「何で こうなの～」 と思う言葉





4. 自分の理解

4-2 感情の扱い

「勉強しなさい」

「さっきからTV見てばかりじゃない」

「何その口のきき方」

「今やろうと思ってたのに」

「だからうるさいって」

「そっちがそんな言い方するから・・・」

勉強はするのでしょうか？

学力はつく？

学ぶ楽しさを知ることができる？



4. 自分の理解

4-2. 感情の扱い

「感情」と「得たいこと」の関係

あれあれれ・・・感情に支配されると

「得たいことを得るところか、遠ざけてしまう」
悲しいけどよくある

「ボタンの掛け違いコミュニケーション」



4. 自分の理解

4-2. 感情の扱い

●感情に支配されないために必要なこと

- ①事実を見る。具体的な行動（相手の表情や言動）を観察する
- ②聞き取る時に歪曲化 一般化していることが無いかを自分に問う。
- ③感情のもとにある「したいこと」と思っていることを捉える



4. 自分の理解

約束を守らない子

「しなさい」

あれ、今何の時間だっけ？

「た

勉強

TVをみている（具体的なこと）

「テレビからTV見たりじゃない」

そうだったよね。いつからやるの？

「だから

「もう少し待って」

約束を破られたことで怒っている（感情）

「口のきき方

いつからやるか決めようか

「そいつ

「次のCM」

約束を守ってほしいと思っている（して欲しいこと）

「

約束は守ってね

「い？

「字刀はつく？

学ぶ楽しさを知ることができる？



4. 自分の理解

4-2. 感情の扱い

ネガティブな感情
を抱くことは
悪いことではなく

感情に支配されないために必要なこと

自分の抱いている「感情」と
感情のもとにある「したいこと」
をきちんと把握していること

良くしたいことの
裏返し

感情を大切に扱う



4. 自分の理解

4-3. セルファイメージ

ワーク②
私の長所と短所

長所	短所



4. 自分の理解

4-3. セルフィメージ

ワーク②

2～3人で長所と短所を共有し、長所については更にプラスに捉えられること、短所についてはプラス視点に言い換えられることをアドバイスし合ってください。「私の長所は〇〇で例えば・・・なことがあります。」等、相手にわかりやすく共有ください

長所	短所

4. 自分の理解

4-3. セルフィメージ

● 自己肯定感を高めるために必要なこと

① できないこと・マイナスをセルフィメージしない。

② 「。。。。ではない」「。。。。できない」上手くできなかったこと、悔やんでいることで側面ではなく。本来したいことを理解する。

③ 「したかったこと」のために行動したできた部分に共感し、できなかったことを許す。 自己受容をする。

4. 自分の理解

4-3. セルフイメージ

自分にマイナスの
レッテルを貼らない

自己肯定感を高めるために必要なこと

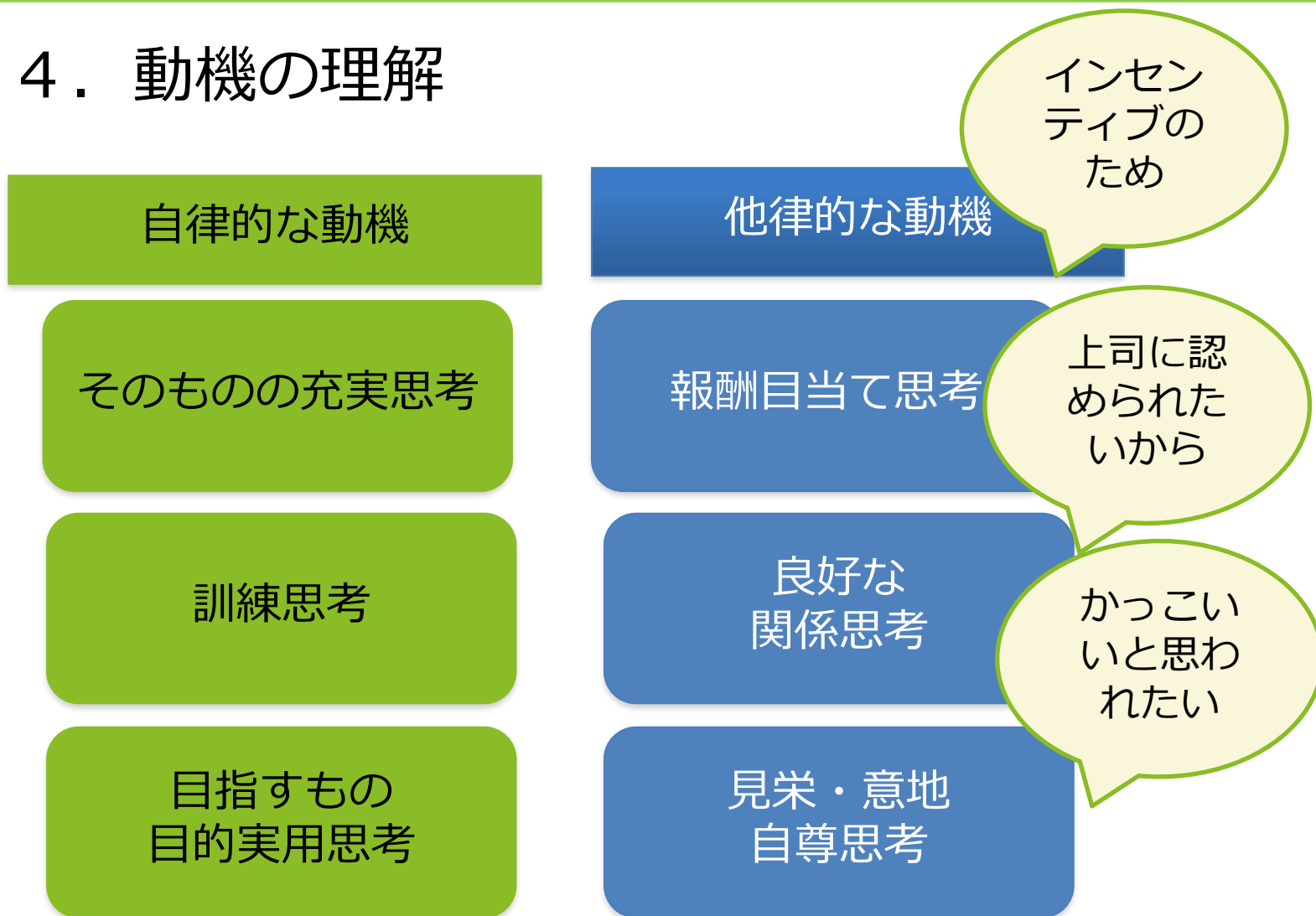
自分自身を批判・攻撃しない。
「したかったこと」のために
行動した自分に共感し、
できなかったことを許す。

自分を認めてあげる

自分のしたい気持ち_{を大切に扱う}

4. 自分の理解

4-4. 動機理解



4. 自分の理解

4-4. 動機理解

主体的でない動機の例

お金

認められたい

罰を受けない
ため

恥の意識を
恐れる

罪悪感を
持ちたくない

義務感

誰にもある気持ち
悪いことではない
そればかりで動いていると問題



4. 自分の理解

他律的な動機のリスク

お金

割り切ってしまうことで、他の人に貢献して対価を得るという仕事の喜びを失ってしまう。

認められたい

認められたいことが目的だと他人からの評価は思うようにはならないため得られない枯渇感につながる。

罰を受けないため

その行動をとる時にやらされ感や怒りを感じるようになる。他責の傾向になる。

恥の意識を恐れる

できないと恥ずかしい、コンプレックスが動機だと自分の嫌なところに意識が向きその行動が嫌いになる。

罪悪感を持ちたくない

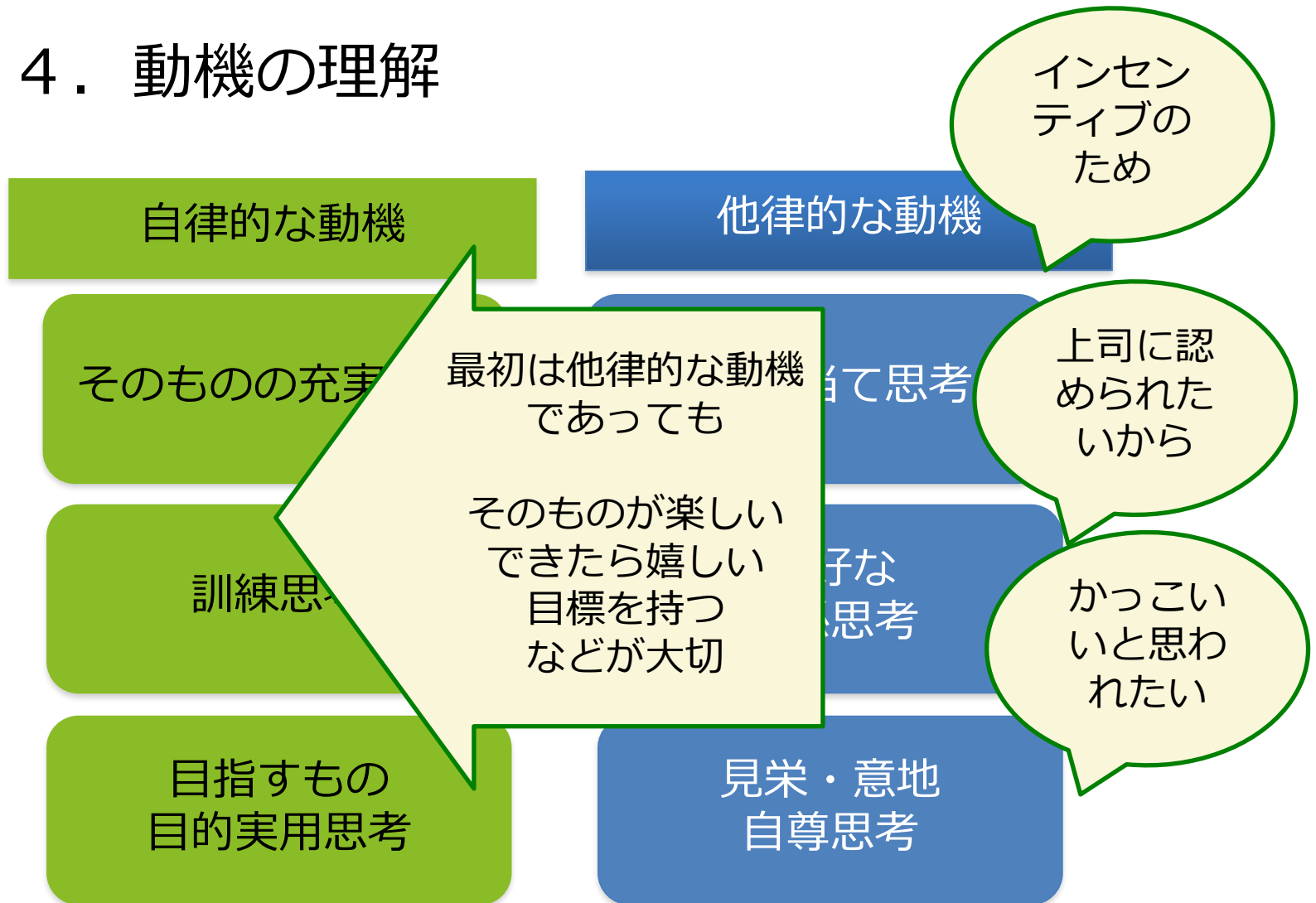
誰かをがっかりさせたくないと行動をとると犠牲・惨めになる。人の幸福に貢献したいと思うと楽しくなる。

義務感

義務感や責任感でとる行動は、自分のやりたいことではないことをしているので個人的には不幸。社会的にも不健康。

4. 自分の理解

4-4. 動機理解





4. 自分の理解

4-4. 動機理解

● 楽しく主体的に取り組むために必要なこと

- ① 私は「自分で選択して〇〇をしている」と置き換える
- ② それを選択した自分が望んでいるもの（「したいこと」）に目を向ける
- ③ 自分の行動への原動力（動機）を自覚する



4. 自分の理解

4-4. 動機理解

選択は自分ごとにする

楽しく取り組むために必要なこと

私は「自分で選択して〇〇をしている」と置き換える。

それを選択した自分が望んでいるもの（「したいこと」）に目を向ける

選択した以上
自分がしたいことに
目を向ける

楽しくないことはしてはいけない



4. 自分の理解

4 - 5. 自分のフレームを理解

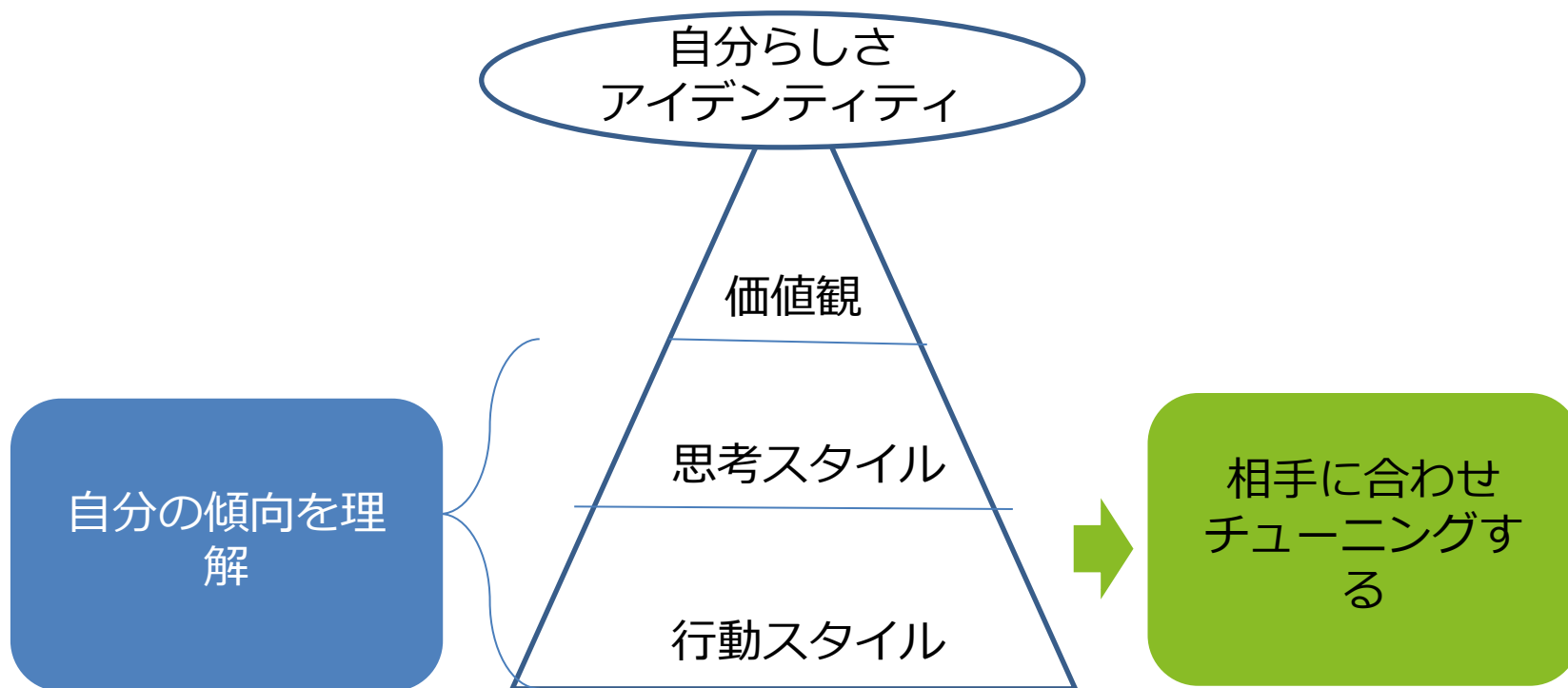
●相手との関係をよくするために必要なこと

- ①人間は自分中心にしか考えられないと理解する
- ②相手の思考のスタイル行動スタイルを想像する
- ③相手の思考や行動のスタイルに合わせた伝え方で伝える

4. 自分の理解

4-5. 自分のフレームを理解

- 相手との関係をよくするために必要なこと



4. 自分の理解

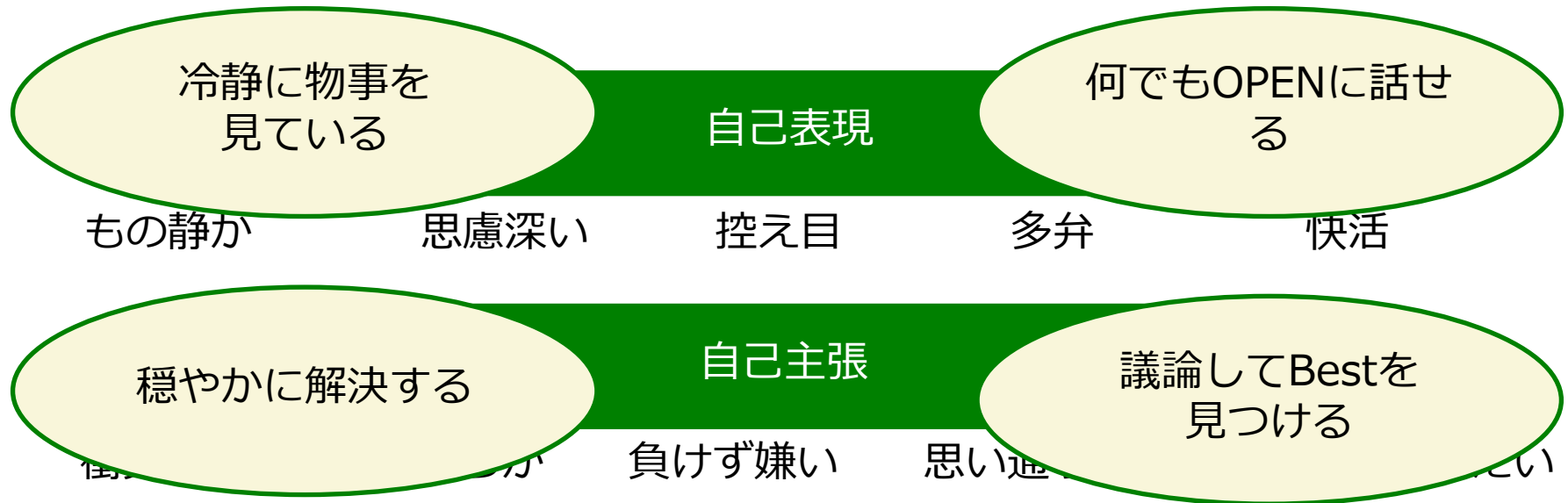
4-6. 自分の行動フレームを理解



自分と似ている部分は肯定的に思いやすく
自分と異なるところはネガティブに考えやすい

4. 自分の理解

4-6. 自分の行動フレームを理解



良い側面を意識する



4. 自分の理解

4-7. 自分の思考フレームを理解

ワーク④

人を評価する時に何を一番大切に
しますか？

「人に優しい」

「頭がいい」

「ユニークなアイデア浮かぶ」

「正しくできる」

.....

自分の思考のフレーム



4 - 7. 自分の思考フレームを理解

それぞれの

A

- 客観的に物事を考える傾向がある
- 効率効果を重視することは当然だ
- 論旨に矛盾があるとすぐに気づく
- 科学・学術・専門的な知識をえることに興味湧く
- データに基づく根拠を重視する
- 知的パズルなど謎解きに夢中になる
- 物事の根拠・目的・最終的な形が気になる
- 物事の仕組みや仕掛けを見出すことに興味持つ
- 「要するになんなのか?」「で結論は?」と思うことが多い
- 何かを考える時に将来どうなるのかという視点が大切だと思ふ

B

- 物事の順番は大切だと思ふ
- 使ったものを元の場所に戻すのは基本だと思ふ
- ルールや規律には従うべきだと思ふ
- 詳細な説明やマニュアルはあった方が安心する
- 感覚的に理解することは苦手な方だと思ふ
- 突拍子もない考え方をする人は苦手、もしくは自分にはできない
- 計画的に物事が進むことに満足する
- 新しい商品やサービスには慎重な方だと思ふ
- 飲食店などは行ったことのあるところを選ぶ傾向がある
- 常識的な人というイメージを持たれることが多い

D

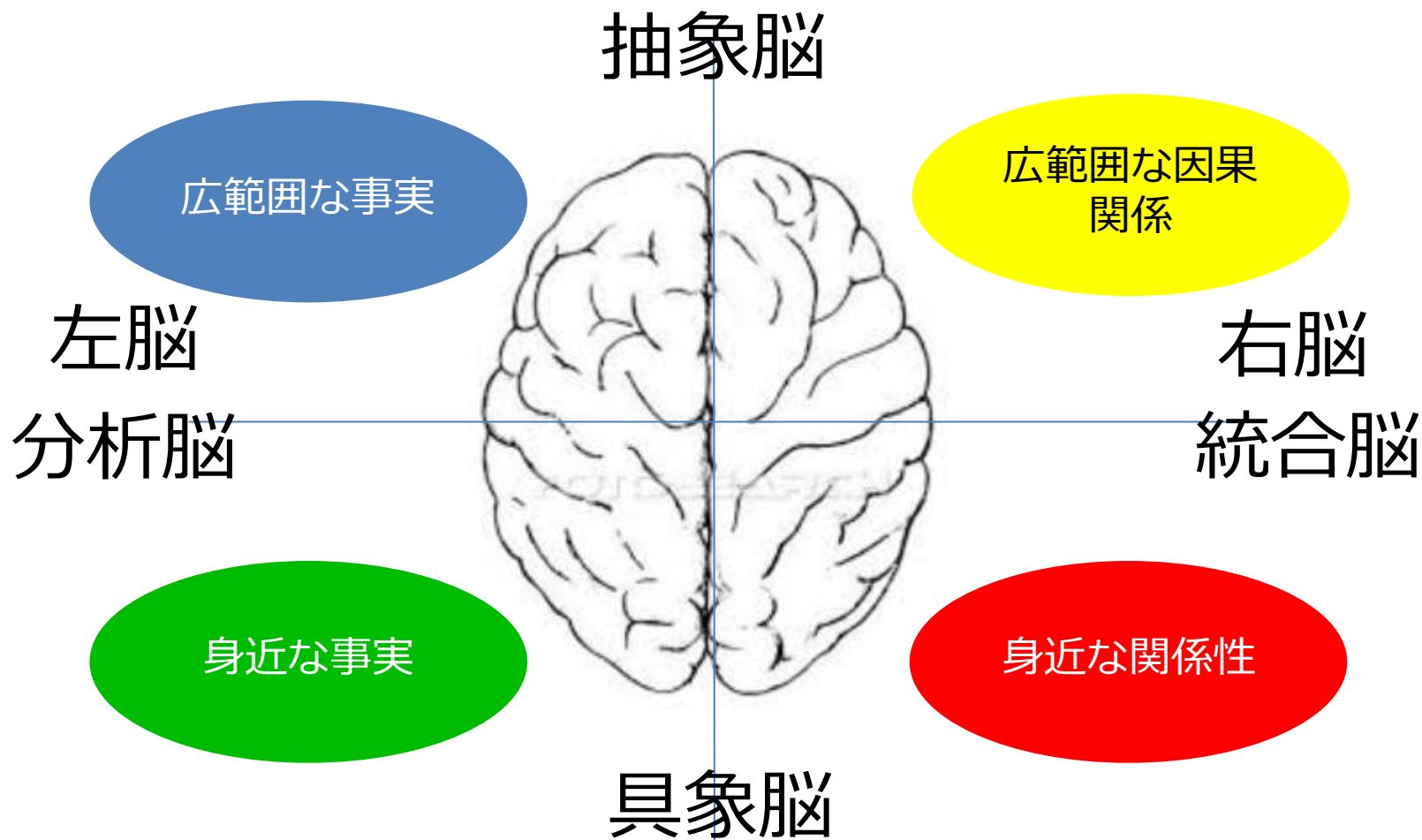
- 頭の中にいろいろなアイデアが湧いてくる
- 「だいたい」「こんな感じで」と何気なく口にしている
- 時間やお金に関して、あまりシビアでない方だと思ふ
- 新しい商品やサービスには興味を持つ方だと思ふ
- いろいろ試してみれば、いい方法が見つかると思ふ
- なんとなく上手くいっている気がすると思ふ方だ
- 意思決定をする時は直観に頼ることが多い
- 様々なことに興味が向いてしまう
- ハプニングがあった方が物事は楽しいと思ふ
- 小説を読んでいると、物語が頭の中で動画になっている気がする

C

- 何かわからないことがあった時は人に聞く傾向がある
- 他人からの評価や他人からどう思われるかは気になる方だ
- 他人から勧められると信頼する方だ
- とくに何の成果もなかったとしても、グループワークでみんなと話しているのは楽しい
- メール返信が来ないと不安に思ふことが多い
- 「三人寄れば文殊の知恵」を地でいっていると思ふ
- 飲食店・商品・サービスなどのレビューサイトのユーザーコメントを気にする
- 意思決定する時に他人のアドバイスは欠かせない
- 自分の考え方を人と話しながら固めていく傾向がある
- 店員さんのお勧めがつつい気になる

4. 自分の理解

4-7. 自分の思考フレームを理解



自分の思考のフレーム



4-7. 自分の思考フレームを理解

それぞれの

A : 分析型

- ・ 明確な思考
- ・ 論理的に問題を解決
- ・ 数字が好き
- ・ 分析することで学ぶ

D : コンセプト型

- ・ アイデアが直観的に浮かぶ
- ・ 創造的
- ・ 視野が広い
- ・ 変わったことが好き
- ・ いろいろ試してみる

B : 構造型

- ・ 実用性を重視
- ・ 説明書はしっかり読む
- ・ 新しい考え方には慎重
- ・ 自分の経験に基づいて判断

C : 社交型

- ・ 人間関係を重視
- ・ 社会性を重視
- ・ 同調しやすい
- ・ 人から学ぶことが多い

D

C

自分の思考のフレーム



4 - 7. 自分の思考フレームを理解

起こりがちなコミュニケーション

A : 分析型

- ・ 明確な思考
- ・ 論理的に問題を解決
 - ・ 数字が好き
- ・ 分析することで学ぶ

D : コンセプト型

- ・ アイデアが直観的に浮かぶ
 - ・ 創造的
 - ・ 視野が広い
- ・ 変わったことが好き
- ・ いろいろ試してみる

B : 構造型

- ・ 実用性を重視
- ・ 説明書はしっかり読む
- ・ 新しい考え方には慎重
- ・ 自分の経験に基づいて判断

C : 社交型

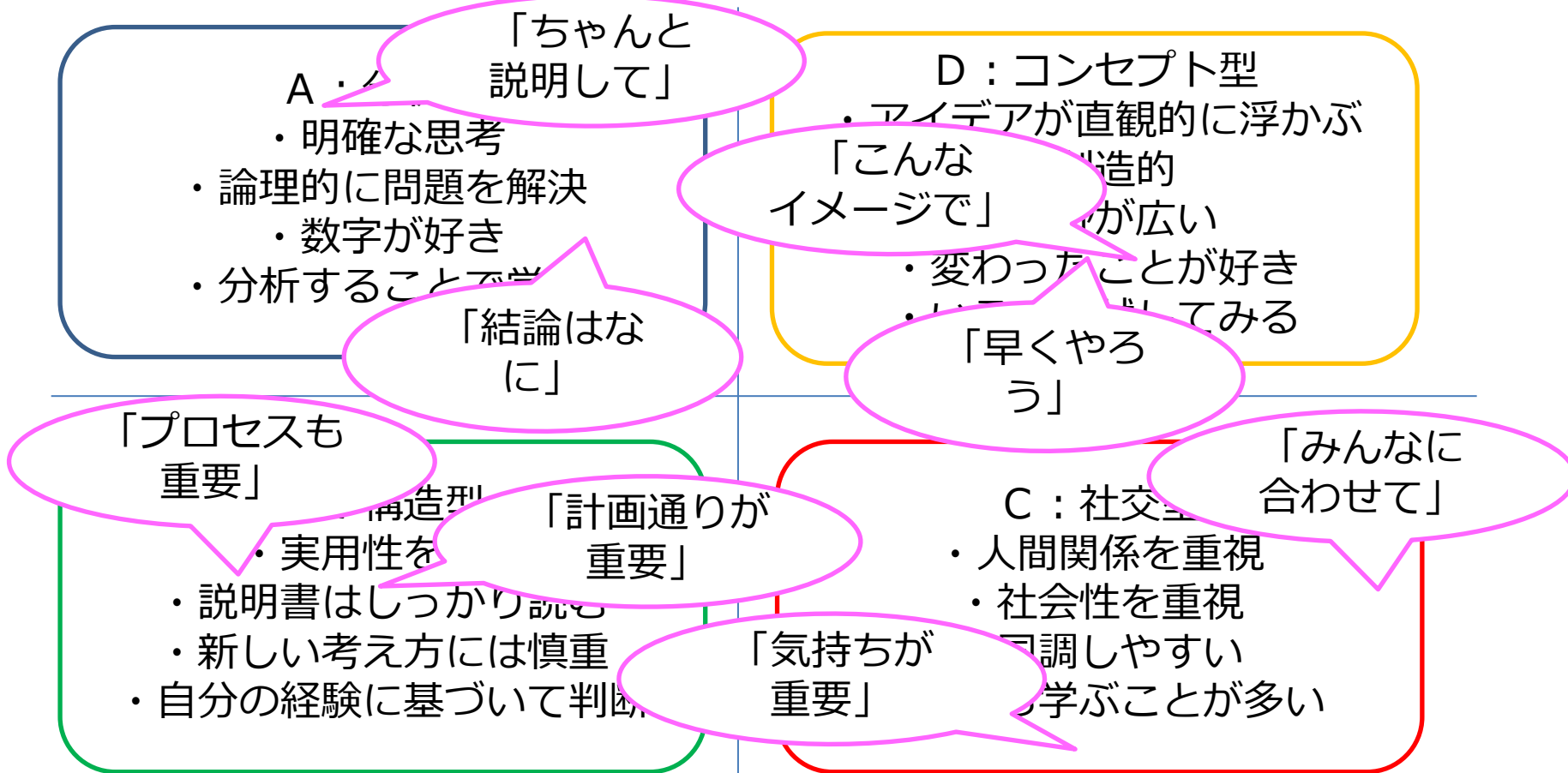
- ・ 人間関係を重視
- ・ 社会性を重視
- ・ 同調しやすい
- ・ 人から学ぶことが多い



自分の思考のフレーム

4-7. 自分の思考フレームを理解

起こりがちなコミュニケーション



自分の思考のフレーム



4-7. 自分の思考フレームを理解

起こりがちなコミュニケーション

A:
「ちゃんと説明して」
・明確な思考

D: コンセプト型
・アイデアが直観的に浮かぶ
「こんな...」

自分と似ている部分は肯定的に思いやすく
自分と異なるところはネガティブに考えやすい

・説明書はしっかり読む
・新しい考え方には慎重
・自分の経験に基づいて判断

「気持ちがとても重要」

・社会性を重視
・協調しやすい
・学ぶことが多い



4. 自分の理解

自分のフレームを
通した相手の気持ち

相手との関係をよくするために必要なこと

自己中心のフレームではなく
相手中心のフレームに合わせて
相手が理解しやすいように伝える

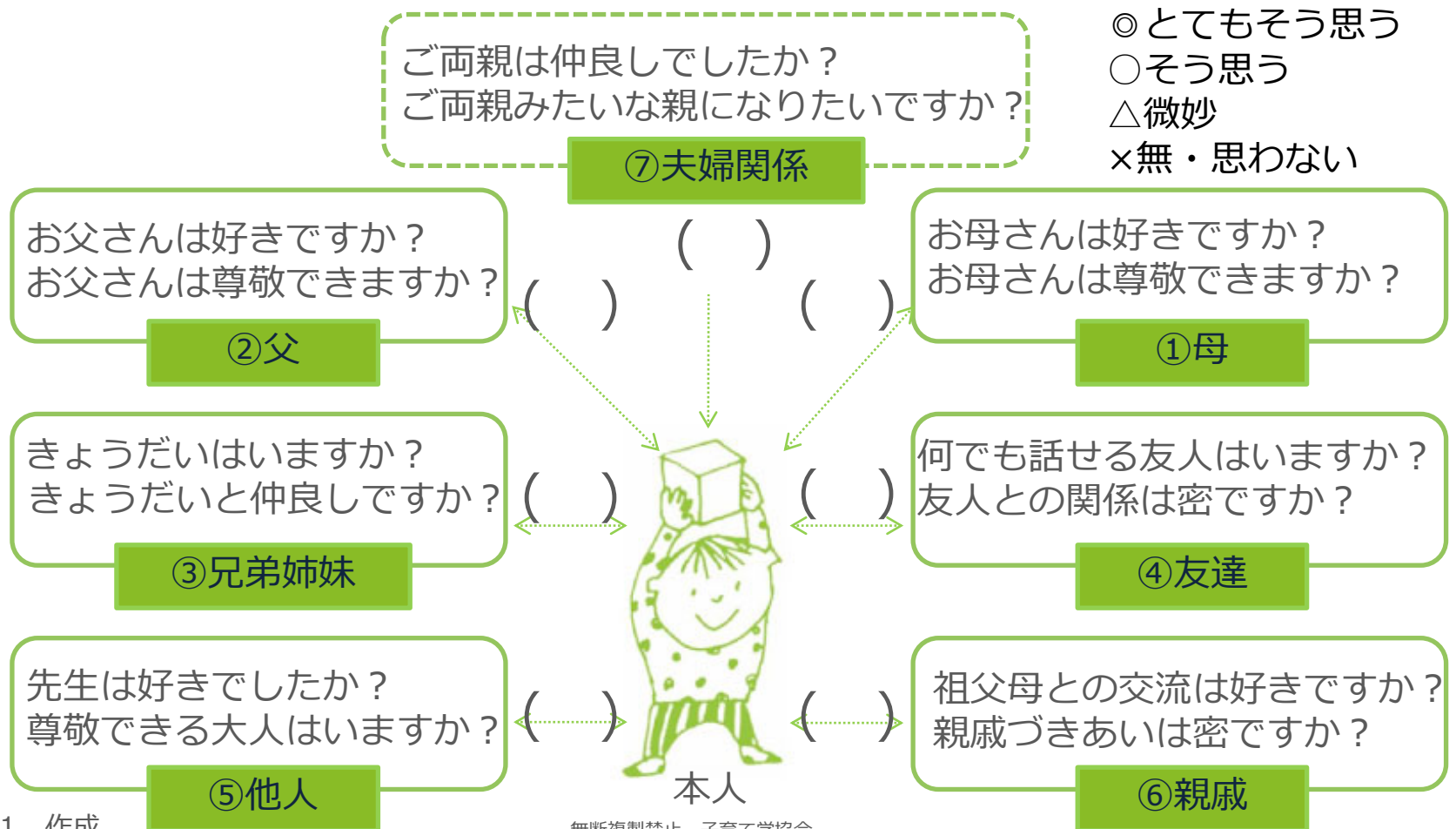
相手のフレームを
通した相手の気持ちを考
えたコミュニケーション

普通にしていると自分中心であることを知る

4. 自分の理解

4-8. 自分の心の安定の理解

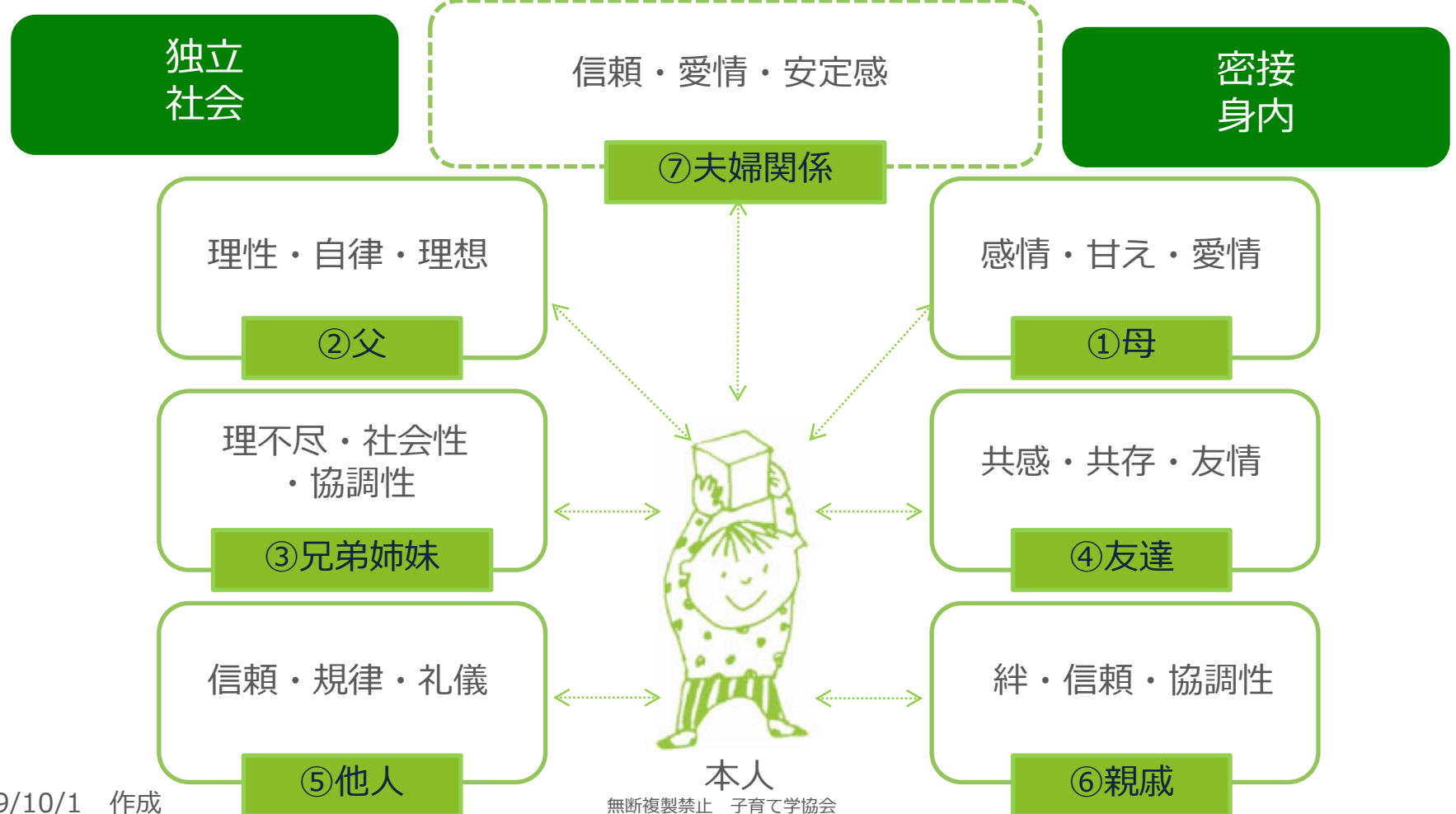
ワーク⑤ 「心の安定」を知るために指標 = 7つのパイプ



4. 自分の理解

4-8. 自分の心の安定の理解

- 「心の安定」を知るために指標 = 7つのパイプ





解

4 - 8.

● 「心

両親の夫婦関係が△や×
 人を信頼するのが苦手
 自分の気持ちを素直に表現したり
 しにくく親密になりにくく
 人間関係が表面的、自分のことを認め
 てくれるかどうか判断基準になる

つのパイプ

独立

父のパイプが△や×

理想を掲げ計画的に進めるなど苦手。
 目の前に起こることや身近なこと足元には
 ばかり気持ちがとられ、目標に向かい進
 めなくなる

愛情・安定

夫婦関係

母のパイプが△や×

愛情表現、甘えることが苦手。
 決め付けやこうあるべきなどの志
 向が強くなる傾向がある。

友達のパイプが△や×

多様な価値観を楽しむことが苦手。
 目的や必要のないことでコミュニケー
 ションをとれず、刺激や学ぶ機会など
 得られにくい

兄弟姉妹のパイプが△や×

約束が守られないなど理不尽に弱い、
 自分の思いと異なるものなど
 多様な価値観との協働が苦手

他人のパイプが△や×

社会に対して不信感をいだきやすい。
 規律や礼儀などを大切にしないので、敵
 をつくる、誤解を生むなどが起きやすい

親戚のパイプが△や×

理不尽なことや、多様な価値観を楽し
 む、家族にある問題を自分ごととして
 受容することが苦手。



本人
止 子育

4. 自分の理解

4 - 8. 自分の心の安定の理解

- 「心の安定」を知るために指標 = 7つのパイプ

注意！あくまでも傾向があるということだけ

自分が苦手なものが受け入れにくい

バランスが良いといろんな感情が理解できる

苦手なものは得意な人から学ぶ

4. 自分の理解

4 - 8. 自分の心の安定の理解

- 「心の安定」を知るために指標 = 7つのパイプ

家族や育った関係・・・微妙なこと

傷ついたり、辛いことを思い出す人もいます

誰が良い悪いではなく、
自分の行動のバックにどんな感情があるかを知ること
で次の成長にもつながります

CFCとして関わる親子のパイプを扱う時も丁寧に大切に扱う

4. 自分の理解



- 感情の扱い
- セルフィメージ
- 動機を理解
- 自分のフレームの理解
- 自分の7つのパイプの理解

自分と同じように また相手も
「感情」「動機」「行動」「思考」「価値観」がある人間。

それぞれのらしさを愛おしく想い、関心をもって相手として向き合うことが大切

本日のタイムスケジュール



イントロダクション	9:30~10:00
1. C F C (チャイルド・ファミリーコンサルタント) 概論	10:00~10:20
2. 子どもの理解①	10:20~12:30
(お昼休憩60分)	
3. 子どもの理解②	13:30~14:35
4. 自分の理解	14:50~16:20
5. まとめ・事後課題・アンケート	

<振り返り①> 本日のまとめ

5-1. 本日のキーワード

●CFCにとって大切なこととは？

1. CFC概論

チャイルド・ファミリーコンサルタント
養成講座アドバンスコースで学ぶことを理解する

2. 子どもの理解①

徳育の観点から子どもの状態や発達を
理解する

3. 子どもの理解②

子どものココロとアタマを育むために必要な
ことを学ぶ

4. 自分の理解

CFCとしての信頼を得るために、自分の理解を
深める

<振り返り②> 事後課題

5-2. 事後課題①

自分の理解を学んでご自身について認識できたことをまとめてください。また、自分がCFCとして活動する上で意識をしておきたい自分の傾向、注意しておいた方が良いと思われることを箇条書きで記述ください。



5-2. 事後課題②

事前課題で想定した「子育て相談」として考えられる項目について、今日学んだ観点を意識した上で具体的なアドバイスを考えてみてください。

次回皆さんで共有したいと思います。

※子育てには正解がありません。

状況を捉えCFCとしての軸で考える練習でもあります。

おつかれさまでした

- 次回は 11 / 11 (土) です
- またお会いできることを
楽しみにしております

アンケートのご記入をお願いします



- * 提出方法 *
- ・スクショ写真
 - ・PDF化したもの
- メールに添付

本日の事前課題をメールにてご提出下さい

- To : info@kosodategaku.jp
- 件名 : アドバンス課題 (フルネーム)